**PCクラスタ用スクリプトの使用方法**

**プログラム一式**

pfinfo.pyはPythonで記述されたスクリプトでPFIファイルから開始ステップと終了ステップを取り出すものです。

pc\_pbvr\_batch\_str.shはユーザが指定したノード数と分割数で実行スクリプトを生成するシェルスクリプトです。

**インストール**

pc\_pbvr\_batch\_str.shとpfinfo.pyをパスが通っている所にコピーしてください。また両ファイルに実行権を付加してください。

**スクリプトのインターフェイス**

pc\_pbvr\_batch\_str.sh -n node [–t thread] –vin input –d div

-ld loadmodule [PBVR用オプション]

|  |  |
| --- | --- |
| オプション | 内容 |
| -n node | タイムステップ1分割当りのノード数を指定 |
| -t thread | 各プロセスのスレッド数を指定 (省略時は2) |
| -vin input | pfiまたはpflのファイルを絶対パスまたは相対パスで指定 |
| -d div | タイムステップの分割数を指定 |
| -ld loadmodule | ロードモジュールを絶対パスまたは相対パスで指定 |

ジョブ全体のノード数は、(node \* div) になります。

-tオプションとPBVR用オプション以外は省略できません。

上記コマンドを実行し、エラーが無ければ「pbvr\_script\_xxxxx.sh」が生成されます。また、mpiexecで使用するmachinefileを生成するようメッセージが出力されるので、利用する環境に合わせてmachinefileを作成してください。machinefileを作成後に生成されたスクリプトを実行してください。

**使用例**

以下は4ノード、4分割でスクリプトを生成する場合です。

$ pc\_pbvr\_batch\_str.sh -t 4 -n 4 -vin data/fork\_bin0.pfi –d 4 pvbr\_server –pout result/case

generate pbvr\_script\_28444.sh

Prepair the following files before execute pbvr\_script\_28444.sh

pbvr\_machine\_1

pbvr\_machine\_2

pbvr\_machine\_3

pbvr\_machine\_4

$ pjsub pbvr\_script\_28216.sh

4分割の場合、「pbvr\_machinefile\_[1-4]」を生成するようメッセージが出力されるので、ファイルを生成してください。ファイルのフォーマットは以下のようになります。

|  |
| --- |
| ホスト名:プロセス数  ホスト名:プロセス数  (以下必要な分だけ繰り返し) |

以上